

令和2年度採択技術について評価結果を示す。

●令和2年度採択技術（実規模実証1年目）

- 中小規模広域化におけるバイオマスボイラによる低コスト汚泥減量化技術実証事業（月島機械(株)・日鉄セメント(株)・高砂熱学工業(株)・室蘭市・室蘭工業大学共同研究体）

提案された技術について、今後の広域化を見据えた中小規模な処理場への普及展開を目指し、集約も含めた戦略的な導入方法に留意し、研究を実施していただきたい。

- 災害時に応急復旧対応可能な汚水処理技術の実用化に関する実証事業（(株)エステム・(株)日新技術コンサルタント・帝人フロンティア(株)・積水アクアシステム(株)・豊橋技術科学大学・田原市共同研究体）

提案された技術について、技術の実用化において自治体のニーズを把握し、普及展開を見据えたガイドライン化に留意し、研究を実施していただきたい。

- IoTとAIを活用した効率的予防保全型マンホールポンプ維持管理技術の実証事業（クリアウォーターOSAKA・クボタ・河内長野市・今治市・赤磐市共同研究体）

提案された技術について、今後の普及展開を見据えたデータの取得・整理に留意し、研究を実施していただきたい。

●令和2年度採択技術（FS 調査1年目）

- AI を用いた下水道管渠損傷度判定システムの実用化に関する調査事業（奥村組・日本下水道事業団・さいたま市・船橋市・藤沢市・福井市・ジャスト共同研究体）

提案された技術について、下水道管渠の損傷部位・損傷種類・損傷程度を格段に効率よく特定する AI を確立し、維持管理業務の効率化に留意し、調査を実施していただきたい。

- AI および展開図化システムを活用した管渠劣化状況の自動判定システム（玉野総合コンサルタント・東京都下水道サービス・東京都・東北大学共同研究体）

提案された技術について、実用レベルの診断精度を有する AI を確立し、劣化診断の低コスト化に留意し、調査を実施していただきたい。

- 車両型地中レーダ探査装置と空洞判定 AI を用いたスクリーニング技術の実用化に向けた調査事業（川崎地質・日本下水道事業団共同研究体）

提案された技術について、下水道に起因する空洞を判定する AI 技術を確立し、維持管理費の縮減に留意し、調査を実施していただきたい。

- 省コスト・省エネ型雨天時対応ハイブリッド MBR に関する調査事業（(株)クボタ）

提案された技術について、ハイブリッド MBR の設計値を確認し、雨天時放流汚濁負荷量の低減に留意し、調査を実施していただきたい。

- 大孔径膜ろ過と生物処理を併用した雨天時処理システムの開発（(一財)造水促進センター・京都大学・北九州市立大学・(株)フソウ・阿波製紙(株)・日本水工設計(株)共同研究体）

提案された技術について、AI 技術による流量予測と大口径膜活用による処理水質の向上に留意し、調査を実施していただきたい。